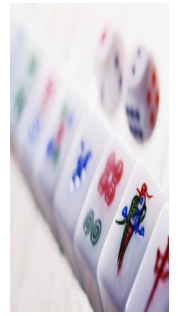


ねいとう 麻雀部 10年の歩み



練馬稲門会麻雀部「10年史」【平成22年2月2日発行：編集委員会】

「麻雀部10年史」の発行にあたって

練馬稲門会副会長 富岡 晃
麻雀部部長 (S41 教)

皆さん、10周年おめでとうございます。平成12年1月に、第1回大会を開催して以来、2か月に1度の開催を積み重ねました結果、平成21年11月に丁度、60回・満10年を迎えることができました。

これも偏に、初代部長 故・土肥 勇氏、2代部長 縫村義則氏、陰日向なく支えて頂いた、当会事務総長 塩田典男氏を初めとする諸先輩の方々のご尽力とご協力の賜物と感謝申し上げる次第です。

さて、私が3代部長に、ご指名を受けましたのが、平成20年の4月でございます。早いもので、「10周年記念大会」(60回大会)を

もちまして、例会・10回を担当することになります。(熱海大会を数えますと11回…)

この間、平成20年度には、「競技ルールの制定」(ゲーム中の禁煙の実施を含む)、各回毎の「会計報告の実施」・「戦績ブリテンの発行」、平成21年度には、「初の宿泊(熱海)大会の開催」、「初の対抗戦・練馬三田会との合同競技会開催企画の決定」(同会宛申込み済み)等を実行しました。

「10年史の発行」を一区切りとしまして、「年12回大会体制」(年6回の例会、6回のイベント会開催)の実現を目指して、今後とも、皆様のご協力の基、微力ながら頑張る所存です。

よろしくお願い申し上げます。



【練馬・来賓館にて撮影。(平成21年11月28日)】

「麻雀部10年史」の発行にあたって

練馬稲門会事務総長 塩田 典男

(S35 政経)

第1回大会は平成12年1月15日新宿の雀荘

「ロビー」にて参加者12名(3組)で大会が開かれた。土肥勇(部長)氏とその友人相原忠英氏(共に昭和25年商卒)がルールを決めて始まった。第1回大会の優勝は、



田代裕一氏であったことを覚えている。

その後ルール改正をしながらも第12回迄、新宿の雀荘で続いた。今は2人の麻雀狂の先輩はお亡くなりになったが、第13回から第25回迄、石神井公園の雀荘「すみれ」、「彩」、「K」と3ヶ所を移動したのはメンバーが増員して来て、ジャン台の多い雀荘に変わって行った。そして第26回から現在の練馬の「来賓館」にて続いている。

部長も初代土肥氏(平成17年9月3日没)、2代目縫村氏は第50回目に大病の為、現在の3代目の富岡氏に譲った。

「来賓館」は7台のジャン台があるので、28名迄可能だが、これ以上増えると、又考えねばならない。

一番苦勞するのは、大会メンバー4人一組を一人でも欠けないようにすることだ！！

麻雀部10年史」の発行にあたって

前麻雀部長 縫村 義則

(S32 政経)

練馬稲門会麻雀部発足10周年を記念して「10年史」が発行されること

に心から祝意を表します。新宿の雀荘で始まった部の活動が現在のように盛況な例会になるとは当初は予想もできませんでした。



これは、故土肥元部長のご尽力や塩田事務総長のご支援によるものであり、前部長として深く感謝しております。部は現在富岡部長の新しい発想の下で活性化されてきていることは皆様既にご承知のとおりであり、今後益々発展していくものと確信しています。

私は初回から例会に参加してきましたが、残念ながら優勝したことはありません。しかし、麻雀部に入って多くの方と交流する機会に恵まれたことは例会での優勝に勝る価値があるものと考えております。

最後に、部員各位のご健康と部の一層の発展を祈ります。

【参考】:「11年目(平成22年度)の行事予定」

(1)	平成22年1月30日(土)	第61回・例会
(2)	平成22年2月2日(火)	10年史発行
(3)	平成22年3月27日(土)	第62回・例会
(4)	平成22年4月●日(金)	第2回・熱海大会
	平成22年4月●日(土)	
(5)	平成22年5月29日(土)	第63回・例会
(6)	平成22年●月●日(土)	第1回・練馬三田会戦

「10周年記念大会(第60回)」に優勝して

麻雀部部員 関 博之

(41 理工)

私は麻雀が好きだ。周りの人達もそれを知っていて、麻雀をやる時は良く声がかかる。又、自分が誘うこともある。



そんな私でも麻雀を始めたのは比較的遅い。

入社して5年程たった頃、営業でお客さんとするようになったのが最初だ。以来約40年のつきあいである。仕事で4年程中国の上海にいたが、その時も中国の人達と中国式の麻雀を楽しんだ。時々中国の人の家庭に招かれ、家族と卓を囲み麻雀や食事を楽しんだ。

麻雀が出来たおかげで、小さな国際交流にも役立つと秘かに自負している。

今や麻雀は私の生活に欠かせない大切な趣味である。以前は勝負に固執したが、今はゲームを楽しむようになった。

今回創立10周年60回目という記念すべき大会で幸運にも5回目の優勝が出来たことを大変光栄に思う。いつも会を運営して頂いている部長さん、部員の皆様に深く感謝している。

「10周年記念大会(第60回)・戦績表」

順位	雀士名	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	合計
優勝	関 博之	30	50	24	27	131
2位	富岡 晃	31	37	-6	1	63
3位	田中 秀憲	48	-13	1	26	62
4位	徳田 浩平	-18	35	-3	45	59
5位	松本 誠	-8	28	61	-25	56
6位	石岡 荘十	-7	-6	52	0	39
7位	小川 義裕	30	0	11	-3	38
8位	犬丸瑠璃子	5	-9	-6	30	20
9位	田口 重樹	10	-41	47	1	17
10位	石渡 明雄	-4	-5	20	3	14
11位	鈴木奎三郎	-11	-8	-12	24	-7
12位	中村 久和	38	-2	-19	-27	-10
13位	三宅 紳童	0	-19	3	4	-12
14位	手塚 康博	-9	-16	31	-21	-15
15位	南小柿 慧	35	-22	-8	-27	-22
16位	高岡 正樹	-32	-19	-20	45	-26
17位	山田興太郎	-5	-4	-22	-1	-32
18位	浜田 浩助	-29	3	-1	-5	-32
19位	小井土有治	-8	8	-6	-29	-35
20位	後藤修一郎	-40	25	-33	11	-37
21位	平岡 紘夫	-14	-11	-18	-2	-45
22位	野田 明	-5	28	-69	-10	-56
BB	縫村 義則	-29	-9	-1	-21	-60
BM	脇 輝彦	-8	-30	-26	-46	-110
	(調整)					
	【合計】	0	0	0	0	0



【10周年記念品:泡盛ボトル】

「10年間の戦績」(THE HALL OF FAME)

THE HALL OF FAME

【麻雀の殿堂】

例会の優勝回数	該当する部員の氏名及び大会回数		
5 回	関 博之	32回・33・35・ 41・60回	 <p>5回優勝者: 関 博之</p>
	富岡 晃	18回・26・29・ 34・53回	
4 回	田代 裕一	1回・〇・〇・52回	 <p>5回優勝者: 富岡晃</p>
	松本 誠	〇・37・39・50回	
3 回	後藤修一郎	42回・54・57回	 <p>4回優勝者: 田代裕一</p>
	湊 保	〇回・〇・43回	
2 回	小井土有治	〇・56回	 <p>4回優勝者: 松本 誠</p>
	塩田 典男	〇・38回	
	田口 重樹	44・48回	
	徳田 浩平	51・55回	
	中村 久和	〇・〇回	
1 回	石岡 荘十	40回	
	犬丸瑠璃子	36回	
	小川 義裕	49回	
	酒井 清造	58回	
	武田 幸雄	46回	
	高岡 正樹	47回	
	平岡 紘夫	59回	

(注)「上記の優勝回数は、部会の正式記録が存在していないため、一部本人の申告(〇印部分)を含みます。」

麻雀部「10周年記念大会」の風景(1)



麻雀部「10周年記念大会」の風景(2)



会員の「麻雀自慢・腕自慢」等(1)

石岡 荘十

(S36 法)

石渡 明雄

(S31 理工)

小川 義裕

(S40 理工)

小井土 有治

(S36 政経)

麻雀との出会いは終戦の年。	チョンボ 一昨年、麻雀の日を忘れ、
当時小学4年生で中国に住んでいた。	遅刻し、皆様に迷惑をかけたチョンボがあった。
親たちの家庭麻雀のそばでOJTですぐ覚えた。	麻雀でのチョンボは満貫を払うことで許されるが他に
しかし今や老いた駿馬。経歴が永ければ腕が上るといものではないが、20周年まで頑張るぞ！	人に迷惑をかける様なチョンボは絶対にしてはいけないと考えている。

麻雀とは大胆と細心のバランス、勝負と協調の世界であり抗し難い魅力悪の薫りがする。	「都の西北」で同じ教室で学んだ友人もいますが、時と場所が異なったために出会えなかった多くの
麻雀を口実に幾度となく約束を反故にして女房殿の不興を買った事か！	早稲田マンと自由闊達に過ごせる時間が楽しみです。
但し今は断言できる。	腕に自信はありません
麻雀の中にこそ人格形成の王道があると。	が今後も大いに競い合いたいですね。

後藤 修一郎

(S44 商)

鈴木 奎三郎

(S40 商)

高岡 正樹

(S31 理工)

田口 重樹

(S33 理工)

記念誌の投稿に想いがつけば40数年間牌を握り続け、多くの方々と卓を囲んだ記憶が走馬灯のように、目の前を駆け抜けて行きま	思えば麻雀とは長いおつき合いだ。
した。	ワセダに入り「証券学会」のメンバーに手ほどきを受けたのが18才の時だ。
校友会麻雀は和気藹々の中に過ごす貴重な一時です。	以来、授業に出るよりも鶴巻町の「西北荘」「緑発荘」に居ることの方が多くなった。まさに青春の日々は麻雀との記憶に重なる。
これからもよろしく、お願いします。	うでまえの方は前途程遠し…だが、これからも麻雀部会のみなさんとの親交を深めたいものだ。

麻雀を始めたのがたしか14才の頃だ。既に半世紀以上ゲームを楽しんでいることになる。	第48回大会以来全く優勝から遠ざかっており、単なる牌立て並べ機と化し、子供の頃(小5~中1)家で両親が知人と
麻雀は、囲碁、将棋と違い意外性に富んだゲームだ。対戦相手や場の雰囲気に関わらずマイペースでゲームを進め、	打つとき、メンバー不足で入った折など、神童と云われたのに、このていつたらく、~ああ~!
役満をテンパイし「ロン」と云って終了すると、何とも云えぬ快感を感じるものがある。	
夢でみる様な役満はなかなかできないものですね！	

会員の「麻雀自慢・腕自慢」等(2)

田中 秀憲

(S35 理工)

麻雀を始めたのが入社10年後営業に就任してからだ。その後教科書を6冊購入した。大枚35万円で家庭用自動機まで購入した。この会は強いメンバーが多く参加した当初は常に下位だったが、最近は2位、3位に食い込む結果も出て来た。

麻雀は4、5時間の息を抜けない緊張感を伴う飽きないゲームだ。

ぼけ防止の貴重なゲームである。麻雀万歳！

手塚 康博

(S31 政経)

10思10考の掟で麻雀に面する私が、もし勝ったら、飲み屋で一杯などと雑念を起すと、負けるのである。

相手への惻隠之心など素より持たず、ただ忸怩たる思いが残る。

来年は勝って老後の貯えにと。各位はどう思うかな！

徳田 浩平

(S42 商)

最優先で予定する麻雀大会です。クラスの悪友、いや、恩人のM君から手解きを受け、学食裏のジャスミンで心技体を磨く。

以来雀友を中心の我が交友録であったが、今は稲門会でのみ打つも、徹マンと変わらぬ充実感を得る。

中村 久和

(S34 法)

麻雀は私の生き甲斐だ。
麻雀は友情を育む道場。
麻雀は勝ってなんぼだ。
麻雀は勝てば疲れない。
麻雀は負ければ疲れる。
麻雀は精神力の勝負だ。
麻雀は頭を使ってやれ。
麻雀はボケ防止の妙薬。
麻雀は高齢に合う競技。
麻雀は人生最高の道楽。

松本 誠

(S41 商)

麻雀は楽しいものです。特に早稲田同窓の皆様と和気藹々のプレーとその後の懇親会が楽しみです。プレー中の禁煙は大事なことです。多くの女性たちが参加すれば更に楽しくなりますネ！

大いに盛り上げましょう！

南小柿 慧

(S34 理工)

私が麻雀を覚えたのは早稲田の3年生の時でした。商社に入り海外駐在時を含め麻雀に明け暮れましたが、昨年退職後に会社メンバーとの囲みも減ったのに稲門会メンバー囲みが出来た事は何よりの事と感謝しております。

山田興太郎

(S41 法)

部会入会3年目、11回の参加で上位入賞は3位が2回の成績です。寅年には是非優勝をと燃えています。『とらぬタヌキの…』にならないよう頑張りますので皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

編集後記

・皆様のご協力で、「10年史」が完成しました。?! 記念大会に参加された皆さん、全員の「原稿」をゲットするつもりが、御覧の通りに出来上がりました。「百字超大」は、独断でカット、悪しからずご了承の程。
・次回は、「11年史」か、「15年史」かわりません。

・写真撮影にご協力願った田中先輩、浜田後輩に御礼申し上げます。
・記念品の泡盛は、松本委員の独断専行(?)で製作…。
・関委員、山田委員にも、感謝です。(A・T)

